

いわて平泉米だより

令和6年12月号



11月21、22、26日の3日間、岩手県のブランド米である「金色の風」と「銀河のしずく」の新規栽培を検討している方を対象に、説明会を開催しました。

説明会では栽培に当たって遵守してもらふ条件の説明や、出荷時に守るべき注意事項の確認などをしました。

質疑応答では、ブランド米の取り扱い方法について、「飯米はどのくらいまで確保していいか」という質問に対し、販売目的の品種のため、飯米として確保できる量に制限を設けていること、また、JA以外への販売はできないことを伝えました。収穫した米の乾燥調製を他の生産者に委託する場合の注意点については、異品種混入を避けるため、調製前の清掃や他品種より先に乾燥調製を実施するよう伝えました。

管内では令和6年時点で金色の風を23経営体、銀河のしずくを50経営体で栽培しており、JAでは今後もブランド米のさらなる生産規模の拡大やPR活動を行います。



説明会の様子